

2020年第2週(1月6日~1月12日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

## 名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)1月15日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

### ◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における2020年第2週(1月6日~1月12日)のインフルエンザの定点当たり患者報告数は18.17人で、前週(10.23)より増加しました。
- 中川区および南区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める警報レベルで継続しており、千種区を始め13区では注意報レベルとなっています。また、愛知県では12月19日にインフルエンザ警報が発令されています。
- 2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09 亜型が全国的に最も多く検出されています。また、A/H3N2 亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いをし、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の10.2人から18.2人に増加しました。
- RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は、前週の0.0人から0.2人に増加しました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の0.3人から1.3人に増加しました。
- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の0.6人から3.1人に増加しました。
- 水痘の定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.5人に増加しました。
- 伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.3人に増加しました。過去3年の同一週の平均との比較では2.3倍多い報告数になりました。
- 突発性発しんの定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.2人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第2週	2類	結核	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、89歳、結核性胸膜炎</li> <li>・男性、85歳、結核性胸膜炎</li> <li>・男性、72歳、肺結核</li> <li>・男性、52歳、肺結核</li> <li>・男性、68歳、肺結核</li> <li>・男性、75歳、肺結核</li> <li>・女性、49歳、肺結核及び結核性胸膜炎</li> </ul>
2020年 第2週	3類	腸管出血性大腸菌 感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、24歳、感染地域：静岡県／愛知県、血清型・毒性型：O26 VT1</li> </ul>
2020年 第2週	4類	デング熱	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、38歳、感染地域：フィリピン</li> </ul>
2020年 第2週	4類	レジオネラ症	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、54歳、肺炎型、感染地域：都道府県不明</li> </ul>
2020年 第2週	5類	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、74歳、菌検出検体：喀痰、菌種：<i>K. aerogenes</i>、感染原因：不明</li> </ul>
2020年 第2週	5類	侵襲性肺炎球菌感 染症	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性、1歳、菌検出検体：髄液、血液</li> <li>・女性、58歳、菌検出検体：血液、喀痰</li> <li>・男性、62歳、菌検出検体：血液</li> <li>・男性、79歳、菌検出検体：血液</li> </ul>
2020年 第2週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、52歳、早期顕症梅毒（1期）</li> <li>・男性、72歳、無症状病原体保有者</li> </ul>
2020年 第2週	5類	百日咳	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性、42歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県</li> </ul>
2020年 第2週	5類	風しん	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性、23歳、検査診断例、感染地域：名古屋市</li> <li>・男性、5歳、検査診断例、感染地域：愛知県</li> </ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020 年 第 1 週	5 類	風しん	1	・男性、28 歳、検査診断例、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

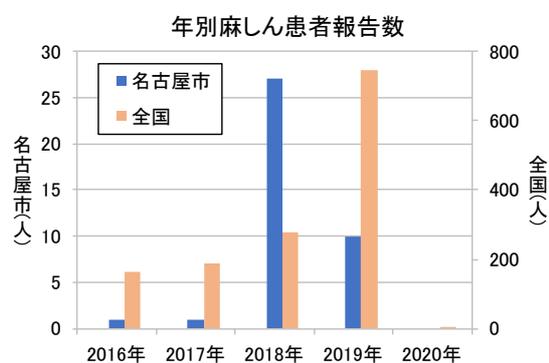
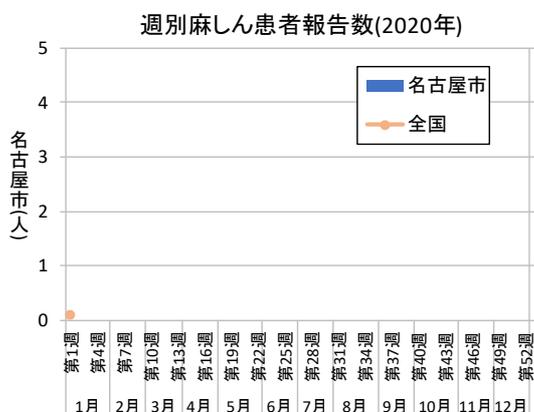
感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	7 (0) [0] [0] 【0】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	デング熱	1
4類感染症	レジオネラ症	2
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	5
5類感染症	梅毒	2 (1)
5類感染症	百日咳	1
5類感染症	風しん	4

累計は2020年第1週からの診断週による累計、( )内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4類及び5類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年1月15日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第2週(1月12日)までの合計(人)
													0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

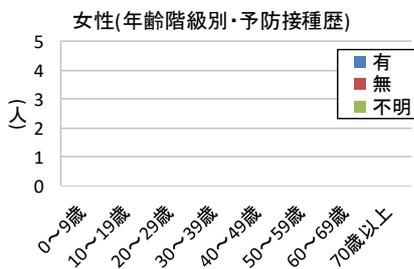
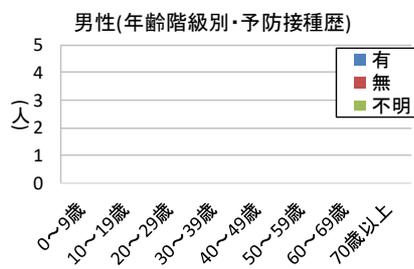
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	1※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	1※2

※1 第2週(1月12日)まで ※2 第1週(1月5日)まで ※3 報告数は速報値

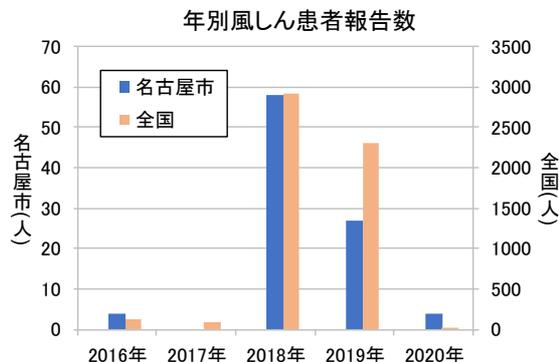
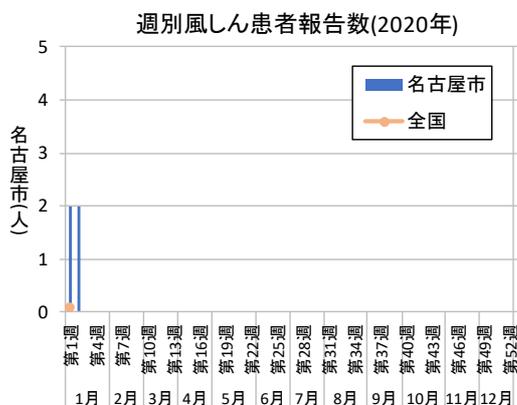
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)				0
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	0	0
	総計(人)	0	0	0	0



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

[名古屋市の風しん報告数：2020年1月15日作成]



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30～ 1/5)	第2週 (1/6～ 1/12)	/					第2週(1月12日)までの合計(人)
		2	2					

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

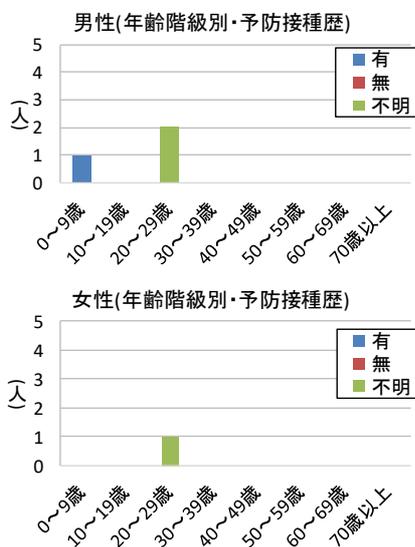
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	4※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	1※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2941	2306※3	1※2

※1 第2週(1月12日)まで ※2 第1週(1月5日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳				0
	20～29歳			2	2
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		1	0	2	3
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			1	1
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	1	1
総計(人)		1	0	3	4



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：A型 14 名 B型 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 31 名 B型 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 13 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 4 名 B型 2 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA 7名	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型：2名	定点医療機関（北区）
インフルエンザ合計 38 名。全てA型です。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型35名インフルエンザB型1名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型20名、インフルエンザB型1名、	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型11名	定点医療機関（中村区）

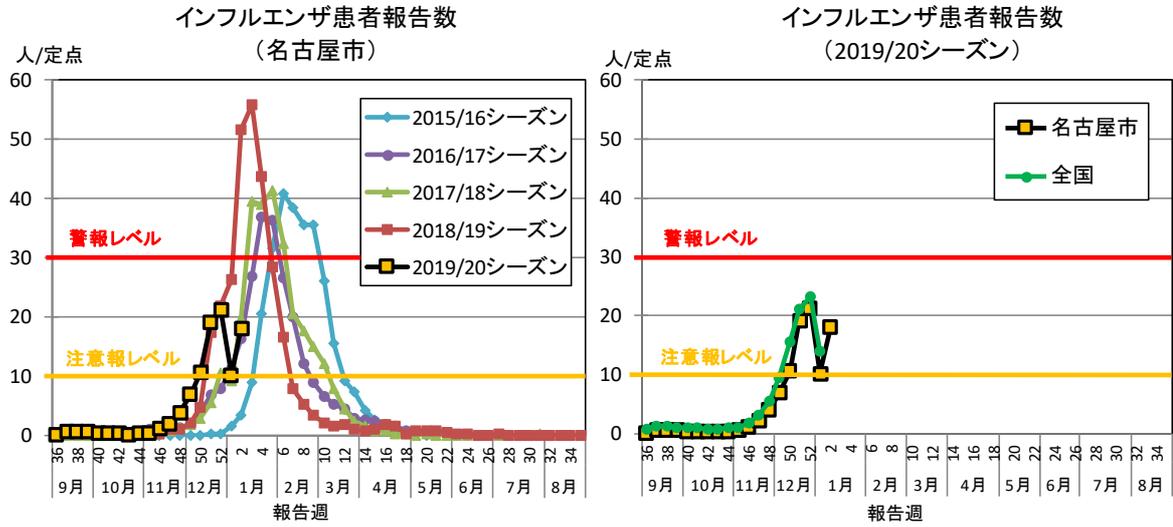
# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザ A 型 14 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型：5 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：7 名、インフルエンザ B 型：2 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：20 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：15 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：7 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：9 名、インフルエンザ B 型：1 名、 臨床診断例：1 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：14 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：6 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：12 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型 3 名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザ A 型：6 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型：13 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（港区）
インフルエンザ A 型 7 名	定点医療機関（港区）
すべて A 型	定点医療機関（南区）

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

A型 男5女2@B型 男1	定点医療機関（南区）
A型 11@B型 2	定点医療機関（南区）
A型	定点医療機関（守山区）
A型 25名 ・ 臨床診断 5名	定点医療機関（守山区）
A型 10名	定点医療機関（緑区）
すべてインフルエンザA型でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型25人、インフルエンザB型3名でした	定点医療機関（名東区）
A型インフルエンザ 11名	定点医療機関（天白区）
水痘2回ワクチン済の子が2人あり。	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年1月15日作成〕



※名古屋市は2020年第2週、全国は2020年第1週までの報告数

### 定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

	第47週 (11/18~ 11/24)	第48週 (11/25~ 12/1)	第49週 (12/2~ 12/8)	第50週 (12/9~ 12/15)	第51週 (12/16~ 12/22)	第52週 (12/23~ 12/29)	第1週 (12/30~ 1/5)	第1週 (1/6~ 1/12)
名古屋市	2.10	3.97	6.93	10.64	19.17	21.33	10.23	18.17
名古屋市 (2018/19)	1.00	1.16	2.04	4.86	17.34	22.00	26.23	51.66
愛知県	3.27	5.48	9.96	16.53	27.55	29.94	23.08	—
全国	3.11	5.52	9.52	15.62	21.22	23.24	13.93	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準  
 ※報告数は各週公表時における速報値

### 各区の患者報告数(第1週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	76	62	42	89	96	49	52	52	54	117	46	214	125	46	78	74	1272
定点当たり 患者報告数(人)	15.2	15.5	8.4	22.3	19.2	12.3	10.4	10.4	13.5	29.3	11.5	53.5	25.0	11.5	19.5	18.5	18.17

インフルエンザ



2020年第2週

### 注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	白
注意報レベル	黄
警報レベル	赤

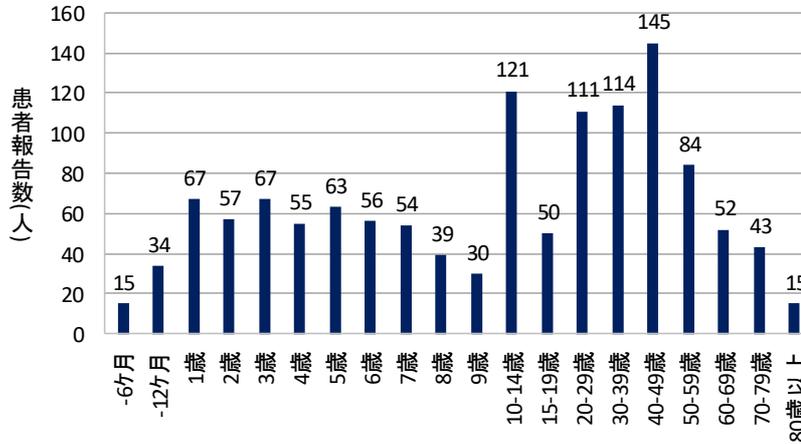
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル		警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値	
10	30	10	

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合  
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

## 年齢階級別患者報告数

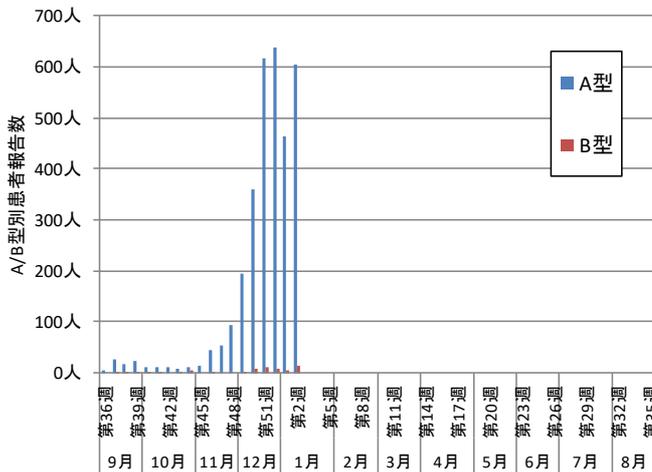
定点からのインフルエンザの  
年齢階級別患者報告数(第2週)



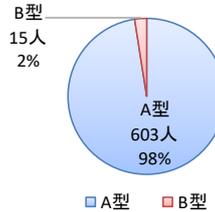
## インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第2週は、インフルエンザA型603人、インフルエンザB型15人でした。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型3194人(98%)、B型65人(2%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。

インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン)  
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(第2週)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2019/20シーズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆2020年第2週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

## 患者報告数(名古屋市)

2020年第2週(2020年1月6日~1月12日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	76	62	42	89	96	49	52	52	54	117	46	214	125	46	78	74	1272	1.8	0.6
○RSウイルス感染症	3			6	3							1			1		14	4.7	1.0
○咽頭結膜熱	3	1	3	2								1			5		15	1.3	1.1
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	4	8	8	3	8			3	7	12	4	17	1	6	4	92	4.0	1.9
○感染性胃腸炎	15	1	31	19	23	2	13			14	27	10	21	13	11	16	216	5.5	0.9
○水痘	8			13						1		1	7			3	33	4.7	1.4
○手足口病	4			3					1				2		2	1	13		3.3
○伝染性紅斑	4	2		1						4		1	5		3		20	3.3	2.3
○突発性発疹	2			2						1			2	1	2	2	12	3.0	0.9
○ヘルパンギーナ				1						1			1				3		
○流行性耳下腺炎										1					1		2	2.0	0.4
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎			2											1			3		0.6
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							3										3	1.5	0.6
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	122	70	86	144	125	59	68	52	58	146	85	232	180	62	109	100	1698		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

## 定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第2週(2020年1月6日~1月12日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	15.2	15.5	8.4	22.3	19.2	12.3	10.4	10.4	13.5	29.3	11.5	53.5	25.0	11.5	19.5	18.5	18.2
RSウイルス感染症	0.6			1.5	0.6								0.3			0.3	0.2
咽頭結膜熱	0.6	0.3	0.6	0.5									0.3		1.3		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.4	1.0	1.6	2.0	0.6	2.0			0.8	1.8	3.0	1.0	3.4	0.3	1.5	1.0	1.3
感染性胃腸炎	3.0	0.3	6.2	4.8	4.6	0.5	2.6			3.5	6.8	2.5	4.2	3.3	2.8	4.0	3.1
水痘	1.6			3.3						0.3			0.3	1.4		0.8	0.5
手足口病	0.8			0.8					0.3					0.4		0.5	0.2
伝染性紅斑	0.8	0.5		0.3						1.0			0.3	1.0		0.8	0.3
突発性発疹	0.4			0.5						0.3				0.4	0.3	0.5	0.2
ヘルパンギーナ				0.3						0.3				0.2			0.0
流行性耳下腺炎										0.3						0.3	0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎			2.0												1.0		0.3

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

### 流行警報・注意報について

■太字の数字は流行発生警報

■斜体の数字は流行発生注意報

■警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

## 年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第2週(2020年1月6日～1月12日)

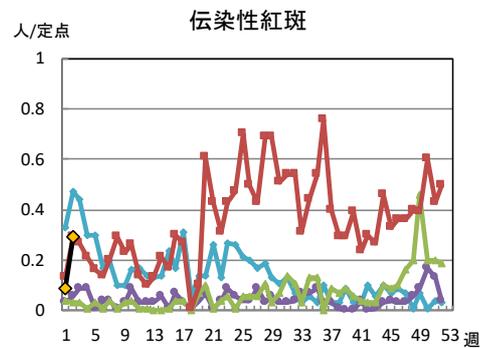
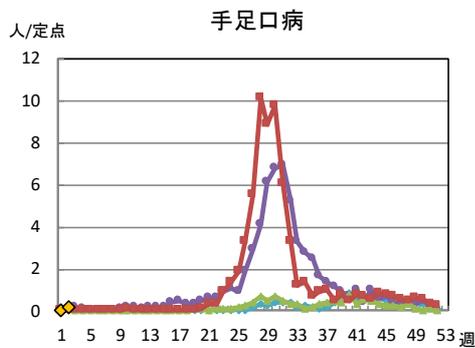
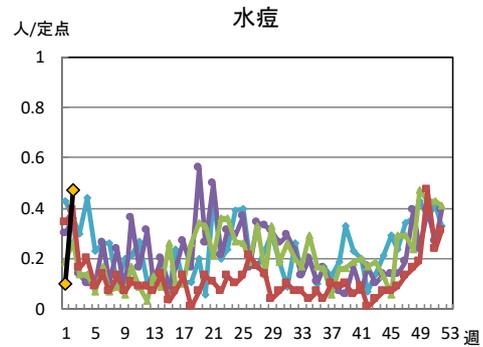
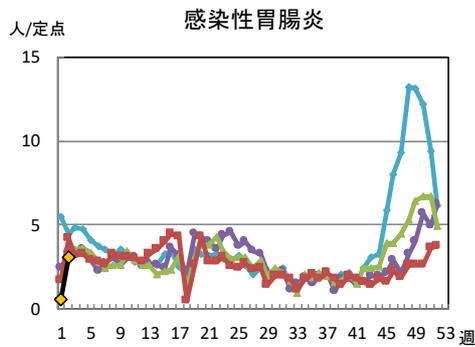
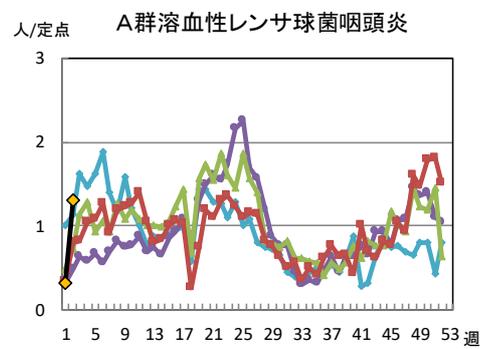
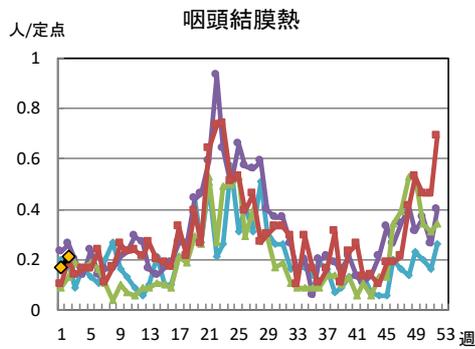
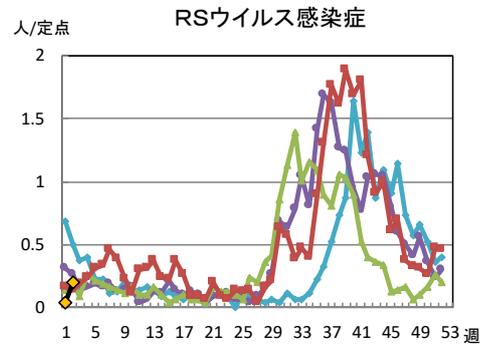
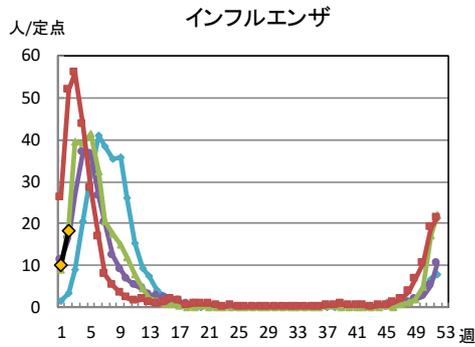
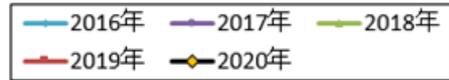
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	15	34	67	57	67	55	63	56	54	39	30	121	50	111	114	145	84	52	43	15

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	3	5	4	1	1									
咽頭結膜熱		1	2	1	5	3	1	1						1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	3	7	9	18	8	6	7	5	11	2	15
感染性胃腸炎		14	28	19	11	9	8	11	11	8	5	15	7	70
水痘		1	1	2	3	1	6	6	4	2	5	2		
手足口病		2	4	1	1	2	1	1		1				
伝染性紅斑			1	1	1	4	4	4		4	1			
突発性発しん		6	4	1	1									
ヘルパンギーナ						2						1		
流行性耳下腺炎											1	1		

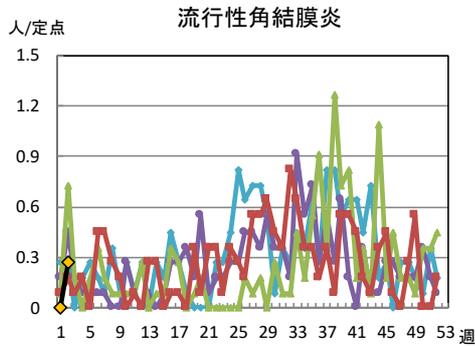
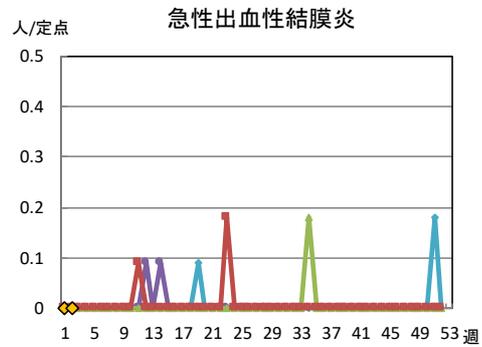
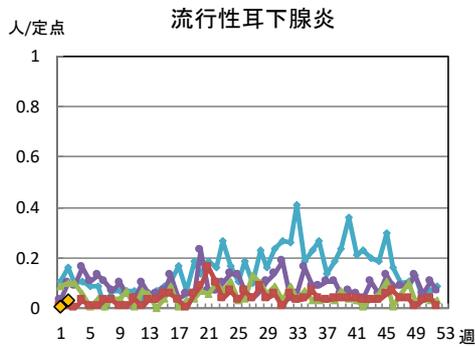
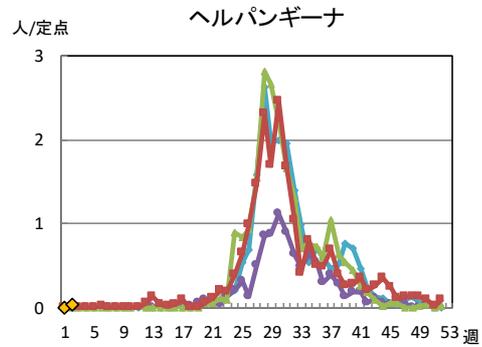
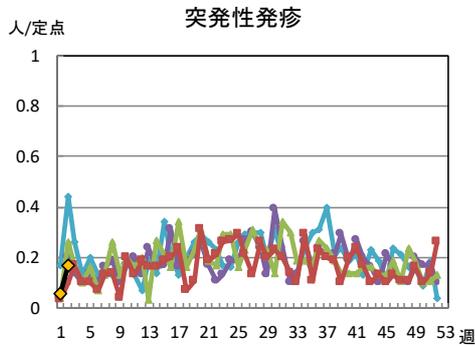
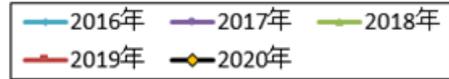
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎														1	1				1	

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎			2	1												
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第2週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第2週まで



## ◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2019年12月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2019年12月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	1		4
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		2		2
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	3	3	0	6

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2019年12月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1							1	2		4
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2										2
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	6

## ◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2019年12月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別で見ると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマおよび淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性165人、女性は31人でした。（表2、図1参照）

2019年12月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から29歳および35歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳以上の全ての年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から34歳、45歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は15歳から44歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から24歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2019年12月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	3		20	2	7	44	3			20	7	1		1	1	2	111
性器ヘルペスウイルス感染症			1	1	2	11	4				4	1		3		2	29
尖圭コンジローマ					1	6	5			6							18
淋菌感染症	2		8		1	13	3			11							38
計	5		29	3	11	74	15			37	11	2		4	1	4	196

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2019年12月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		4	16	27	11	13	6	6	4	4	91
	女性		3	4	8	3			1		1	20
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			2	3		1	6	1	2		20
	女性		1	3	1	2	1	1				9
尖圭コンジローマ	男性			4	3	1	2	1	3	1	2	17
	女性			1								1
淋菌感染症	男性		4	6	8	7	7	1	2	1	1	37
	女性			1								1
計	男性		8	28	41	19	23	14	12	8	12	165
	女性		4	9	9	5	1	1	1		1	31

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2019年12月)

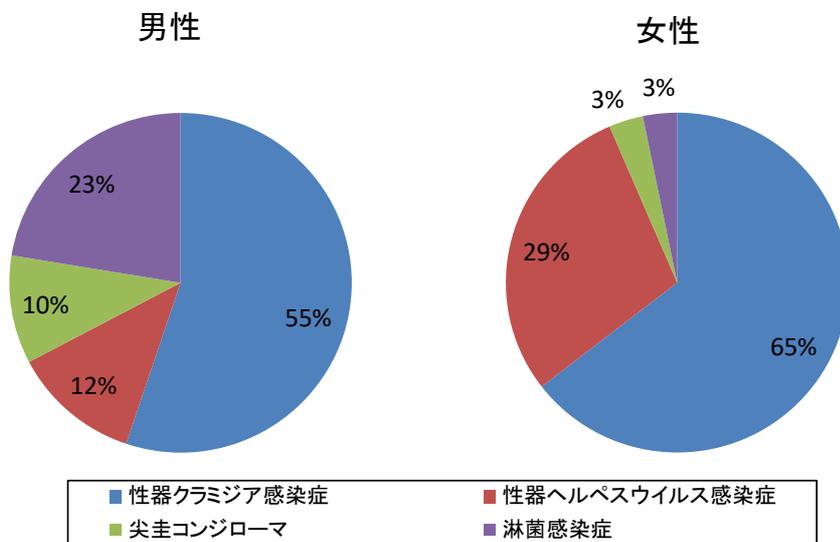


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2019年12月)

